

あぶくま大堰見学会ほうこく

オープン大堰 Report

11月4日(日)、阿武隈大堰で、「オープン大堰」と題した大見学会を開催しました。今年、阿武隈大堰はお陰さまで完成後30年を迎え、これを記念して岩沼出張所が企画したものです。

参加した方々は午前・午後合わせて総勢72名。大堰の近所にお住まいの方、いつも大堰近くまで散歩やグランドゴルフに訪れているという方、遠くからチラッと見たことがあるだけの方などさまざまでした。

みなさん、普段なかなか目にする事の出来ない大堰の施設を興味深げにご覧いただきました！



操作室の様子

当日のスケジュール

管理分室の中で

- ①阿武隈大堰はなぜ必要だったの？
- ②どんなふうに使われたの？
- ③どんな仕事をしているの？

約30分

管理橋に移動して

- ①管理橋へ行ってみましょう！
- ②サケに会えるかな？
- ③補修工事について聞いてみよう！

約60分

はじめに管理庁舎の中でDVDを鑑賞した後、阿武隈大堰の概要や役割、建設の歴史やゲート開閉の仕組み、操作の方法などの説明を受けました。

その後外へ移動し、いよいよ管理橋を渡ると、ゲートを動かす巻き上げ機が格納されている管理棟内部を細かく観察したり、遡上中のサケの颯爽と泳ぐ姿を管理橋の上から見守ったりと、思い思いに見学されていた様子でした。

ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

映像を見ながら説明を聞いているところ



モニターで川の様子を確認しています



管理橋の上にある管理棟の中の様子



管理橋から川面を見下ろしているところ



ほらっ、あそこ！
サケが泳いでるよ！
見えるでしょ！



次のページもあるよ



大堰についての勉強中



阿武隈大堰について @操作室



熱心にメモをとる、その中身は…



阿武隈大堰の概要や役割、仕事の内容などについて説明を受け、積極的に質問もしてくれました。

監視カメラって、何台くらいあるんですか？



エアタンクとあぶたん！



予備発電機について @発電機室

停電が起きても阿武隈大堰を安全に動かすことが出来るように、2台の予備発電機が備え付けられています。

逢隈小4年生の

阿武隈大堰

見学会

今年も元気なお友達が見学に来てくれました。



発電機を動かす機械の説明を聞いています



これは何をやる機械なんですか？



何が見えるの？



11月7日(水)、近くにある逢隈小学校の4年生100人が、総合学習の一環として阿武隈大堰を訪れました。児童たちは2つのグループに分かれ、それぞれ操作室での学習と、予備発電機や大堰の見学を行いました。

現在大堰付近の阿武隈川では、産卵のために海からさかのぼって来たサケを間近で見ることが出来ます。この日も、右岸と左岸にそれぞれ造られた魚道に向って、勢い良く泳いで行くサケの姿をたくさん捉えることが出来ました。

阿武隈大堰に行ってみよう！ @管理橋



阿武隈川は、あっちに向かって流れて行くんですよ。



実際に管理橋を渡り、ゲートから流れる川の水を間近で観察したり、この時期遡上を行うサケの群れを見ることも出来ました。

細かいところまでしっかり描かれています！



管理橋からの景色



こっちにもあぶたんが！



工事のお知らせ

昨年9月の台風15号により、阿武隈大堰下流の川底にある護床ブロックの一部がえぐられたため、復旧工事を行っています。工事箇所が川の中央部にあるため、まず亘理町側から少しずつ工事箇所まで仮栈橋を架け、通路を造ります。その後、工事区域を鉄の板(矢板)で囲んで、川の水が入らないようにしたうえで工事を行っています。工事の際、工事車両が通行いたしますが、周辺の皆様のご迷惑にならないよう配慮して進めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

